

下水道使用料等検討委員会会議録

第6回 平成23年7月1日（金）

午後1時30分 開会

【委員長】 ～ 委員長あいさつ ～

本日は、〇〇委員が議会のため、〇〇委員はお仕事の都合で欠席となります。

【施設建設担当課長】 先日、第5回下水道使用料等検討委員会、下水道施設見学お疲れ様でした。清瀬水再生センター・下谷ポンプ場に関連する経費の説明をしたいと思います。

各家庭から排水された生活污水は各家庭の下水道管を流れ、清瀬の処理場へ田無方面の所沢街道から小金井街道の下を流れる黒目幹線（直径 3.25 m）に接続し（東久留米市内接続箇所は4か所あります）清瀬水再生センターに流れております。

頂いたパンフレットにも、ありますように清瀬水再生センターの 処理区域は、東村山市・東大和市・清瀬市・東久留米市・西東京市・武蔵野市・小金井市・小平市・武蔵村山市、計画処理面積は7千884ha、9市の汚水を処理する施設であります。敷地面積が21万3,012㎡、例えば東京ドームが46,755㎡なので4.5個分、処理能力が37万3,950㎥/日、東京ドーム124万㎥の0.3杯分にあたります。

東久留米市で申しますと、恐れ入ります前に配りました第4回資料2ページをお開き頂き、左側項目の基礎数値、上から3行目年間処理水量、平成21年度で言いますと1、162万5千㎥を365日で割ると1日3万1,849㎥、25mプールが約300㎥なので1日約106杯分を処理しております、8ページ表の歳出流域下水道管理費に年間4億5千万円強の負担金をお支払いしています。38円/㎥でするので処理水量をかけて、事務費を足していただければわかると思います。

そしてもうひとつの施設、汚泥ガス化炉施設建設費が40億円というお話でした東久留米市の建設負担金は、1億1、544万円弱となっております。

また、汚泥ガス化炉施設建設費負担金のように、建設負担金は平成21年度までで71億7,600万円を支払っております。

次の見学場所であります、下谷ポンプ場は地形が低く自然流下で流域下水道幹線に接続できない254.5ha（上の原・金山町・神宝町・大門町・浅間町・学園町・新川町一部・南沢一部・本町一部）全地域の2割弱に当たる地域の汚水を圧送する施設です。8ページ表の歳出ポンプ場施設管理費は4千万弱の費用が掛っております。ポンプ場施設管理費・流域下水道管理費・償還額の合計が17億2千万円で総歳出19億9千万の86%に当たります。

理想的な維持管理とはいいいづらい状況であります。

【委員長】 それでは、本日の議事に入りたいと思います。事務局からの説明をお願いします。

【下水道計画係長】 ～ 資料説明 ～

【委員長】 説明有り難うございました。各委員から意見を頂きたいと思います。質問を含めて何かありませんか。

【委員】 今までは、地方公共団体が負担してもいいかなと思っていました。私たちは、下水道を含めて豊かな生活をしていまして、ゴミにしてもそうですが、処理するのにコストがかかる。安いと節水意識が低くなって、不要に使ってしまうと思いました。回収率が60%と言うことは、大口使用者は、それだけ一般会計から補助の恩恵を受けていると思います。それで、豊かな暮らしをしている以上ある程度は、受益者がコスト負担するのは仕方がないのかなと思います。

【委員長】 大口使用者は、使用料が上がるとコスト管理の視点からなるべく水を使わないように工夫するが、まだ一般家庭ではそれほど意識が低いのかと思います。実際の大口使用者はどのようになっていますか。

【下水道計画係長】 コカ・コーラは、工場排水を自家処理して河川へ放流していき、事務所関係の排水が下水道に接続されています。山崎パンは平成14年に接続しましたが、次の年にはあんこ製造部分が移転し使用量は減少しました。

【委員】 話は変わりますが、立川市と東久留米市が基本料金を全額免除しています。他の市は基本料金を負担して頂いているので、値上げの話もありますが、基本料金を徴収してはどうでしょうか。年々、補助を受ける方が増えていて、今後も減ることはないのか、検討してはどうでしょうか。

【委員長】 減免の話については、議事(3)で行いますので、後ほど意見を頂いて議論を行いたいと思います。

【委員】 市としては、固定費が高いので、料金を高くして節水になると、市は困りますよね。あまり、料金を高くしてみんなが節約すると困りますね。本来ならば、節約するほうがいいですね。

【委員】 資料1の歳入の欄で5年毎に値上げしているけど、平成28年度の収入がもう少し上がると思うが。それで、歳入のケース5では、1ページ目に年間約4億5千万円の増額となっていますが、資料1の平成27年度から平成28年度で約5億円増額となっていますね。しかし、ケース3の場合は、資料1の平成27年度から平成28年度で約6千万円の増額で1ページ目の年間約7千6百万円の増額と数値が違いますが、こういった理由でしょうか。

【下水道計画係長】 各年度の使用料金収入は、年度の有収水量に料金単価を乗じて算出するのに対し、年間の増額は資料3に示したとおり、平成21年度の使用水量

に対し、改定した場合の増額を示しています。

【委員】 単純に５％と言うことではなくて、将来の水量が減少しているのですね。

【委員】 少しずつ水量が減っているのですね。

【委員長】 資料３の方が分かり易いですね。〇〇委員よろしいでしょうか。

【委員】 はい。

【下水道計画係長】 第４回委員会で〇〇委員から質問のあった滞納者数について回答します。調べましたところ、平成１９年度において、３，２６３件、１，５６０万円となります。

【委員】 電気料金と違って、止めるところまではいっていないのですか。

【下水道計画係長】 水道料金と同時徴収ですので、水道を止めると下水道に水が流れないこととなります。

【委員長】 水道は止めたことあるのですか。

【施設建設担当課長】 前の部署で生保にいましたが、支払っていないと止めていました。いきなりは止めませんが、滞納が何ヶ月か続くと止めます。

【委員】 第３回委員会資料の２１ページ中段くらいにある特定目的基金について教えてください。資料の中で「特定目的基金の中には、現在、使用目的が定まっていない休眠の基金があり、それらの基金を活用するための検討を行っていきます。」とありますが、休眠中の基金とはどのようなもののでしょうか。

【都市建設部長】 例えば、都市建設部では、駐車場・駐輪場等の基金があって積み立てていて、４・５年経過していますが駐輪場の場所が無いために使っていないようなものがあります。

資料の説明が有りますが、例えば、緑の基金も有りますが、浄水場の土地について基金をもって公有地化を行ったり、黒目川上流の柳窪の下水道整備についても基金を使って用地買収するなどしています。

市では、一般会計にお金が無い場合、金融機関からお金を借りて使っていますが、借ると利息が発生するので、基金を融通して使っています。

【委員】 それでは、目的を検討するのでは無く、既に活用しているのではないのでしょうか。

【都市建設部長】 それは、やむを得ず使っているので、本来の目的ではないと言うことです。次回までにしらべておきます。

【委員長】 使わない場合は戻すのですか。

【都市建設部長】 戻すことはないです。

【委員】 今回、委員になって、下水道料金を払っているとは思っていなかった。よく考えてみたら、むかしの汲み取りでは金を払って持って行ってもらっていた。そういうことから、快適な生活にはお金がかかるのは当然のことで、現在は快適な生活が当たり前になって気づかない。適切な負担は必要だと思います。東久留米市の場合は、負債が多いから、なんとか軽減できないかということで、借換等の対策を行って

スリム化しているが、もうできないのかどうか。それから、水を使って頂くことが一番いいけど、限度があるから、啓蒙して市民から理解を得ることで、それ相応の負担をしてもらう。

話が変わりますが、今度、イオンが出来るので、大口使用者がどのように見込まれているのか。それが、はっきりしないのであれば、現在、イトーヨーカドーがどれくらい使っているのか。イオンができることによって、市にとってのプラスがあるのではないかと思います。

【都市建設部長】 今のところ、イオンの店舗内容が具体的に確定していないので、使用水量は明確ではない。イオンの方も環境負荷の軽減を図っているので雨水利用等でトイレの排水を行うことを検討しているみたいなので、はっきりは分かりません。イトーヨーカドーについては、今、調査しています。

【委員】 雨水を下水道管に流す場合は、メーター付けるのですか。

【都市建設部長】 メーターをつけて、水道に上乘せして請求しています

【委員】 下水道使用料収入が現行で7～8%減るような見込みですが、どのような理由で減るとしていますか。

【下水道計画係長】 過年度の推移を見て、今後、節水型社会に移行していくことを見込んで推計しています。

【委員】 節水型の家電等の社会情勢の変更だけで、人口減少や人口世代形態別に推計をしないのですか。

【下水道計画係長】 人口については、緩やかに減少するような推計を行っています。

【委員】 例えば、水道使用者の年代によって使用量が違うと思うのですが、そのようなことはないのですか。高齢者の方は、水道使用量が減ると思うのですが、そこまで加味する推計はしないのですか。

使用水量が減るような中で、使用料を値上げしても効果が上がらない場合もあると思います。公共下水道プラン10年としているが、10年後のことを考慮して使用料のことを考えるのが良いのか、5年毎に見直しをするということを前提で検討したほうがいいのか。どちらでしょうか。

【委員】 10年でも、5年後には検証しますよね。

【下水道計画係長】 そうです。水量については、推計なので実績との検証が必要だと思いますので、5年スパン程度で検証を行っていきたいと思います。

【委員】 3%値上げしても、3%使用水量が減ればいっしょですよ。

【委員】 そこが重要で、水量の減少をもっと厳しく見込んだほうが良いのではないかと思います。将来予測について、正確性が心配です。

【委員】 この前、下水道見学の後に人と話したのですが、下水処理にお金がかかると思っていないのですよね。実際はすごくお金がかかっています。水道は、石原都知事が安全だと言っていて、水道は綺麗にするのにお金かかるのは認識があるようですが、自分の出した排水の処理にお金がかかるとは思っていないようです。やっぱ

り、下水道PRは難しいと思いますが、美しい景観で快適な生活をおくるにはお金がかかっていることを、お金をかけないでPRをして行く必要があると思います。

【委員長】 過去に学ぶと言って、昭和40年代の市内はドブ川だった。今の綺麗な川を見て現代の人は特に意識をしない。6月11日に「湧水・清流保全都市宣言」を出されましたが、いつも綺麗な湧き水があって、美しい景観がある。西東京市の方が言っていましたが、西東京市には清流に触れられる公共用水域が無いので、東久留米市は人口が増えてもいいとおっしゃっていました。同時に、下水道が行っている役割とそれにかかる労力、お金をどのように市民にPRしていくか考えないといけないと言っていました。

「湧水・清流保全都市宣言」を出したときに、コメントを出していますが、下水道を含めたインフラ整備の役割について、少しでいいから触れて欲しかった。綺麗なことばかり並べていて…

【施設建設担当課長】 第4回の委員会でも話しましたが、下水道の料金や下水道の役割が分かりづらいので、広報で連載をやっていきたい。また、下水道が整備されていても雑排水がまだ流れているので、そのあたりも触れて説明していきたい。

【委員長】 広報はきれいごとばかりではなく、市民には本質を伝えるようにして、本当のことを伝える文面にしてほしい。なかなか文章にし辛いこともありますが、部内や施設建設担当課長会等で検討して頂きたい。また、普段から継続的に工夫してやっていって頂きたい。

【委員】 先ほどの質問に関連しますが、資料1の一般会計繰入金のケース1からケース5までありますが、私の感覚からするとケース1からケース4まであまり差がないような気がします。ケース間で差がつかないのであれば、ケース1の6.2%の1回の値上げが市民に理解されやすいのではないかと。

【委員】 使用量の減少が見込みより進むかもしれないということもあります。

【委員】 会議の後、下水道計画係長に電話で確認しましたが、汚水の起債残高について平成23年度には約170億円あるのが平成32年度には約60億円に減少しています。10年間で約110億円減っていますから、新たな借入が無ければ、平成30年度後半には概ねなくなるのが想定されますね。

【委員長】 平成28年度では、約90億円ですべてなくなっていますね。ただ、〇〇委員も言っているように、厳しい見方も必要ですね。流動的な視点も必要かと思います。

【委員】 古くなった下水道の改築・更新は見込まれていますか。

【下水道計画係長】 見込んでいますが、施設の劣化の状況によっては、新たに改築事業は発生することはあります。

【委員】 一般会計からの基準外繰入金の率は、東久留米市がどのくらいで、他都市と比べてどのくらいの位置にいるのかわかりますか。

【委員】 下水道料金の比較表はありましたが、繰入金の資料は無いですね。

【下水道計画係長】 26市の決算状況ですが、八王子市が一番多くて26億円あ

ります。次が西東京市で20億円です。その次が、町田市が18億円、日野市が15億円、青梅市が14億円となります。東久留米市は5億円ですので低いですね。

【委員】 平成21年度は、起債償還が少ないので比べられないですね。平成22年度の推計値では約8億円ですね。率としては、他市に比べて大きいですね。

【委員長】 意見が尽きないですが、本日、改定率について方向性を決めたいと思います。ご協力を頂きたいと思いますが、事務局はどのように考えていますか。

【都市建設部長】 10年間を見据えた中で、累計で経費回収率100%が理想です。事務局としてはケース5となります。

【委員】 経費回収率が100%超えても黒字分は一般会計に戻せない。

【都市建設部長】 経費回収率が100%を超えれば、改築・更新事業がスムーズに行えるほか、それでも黒字の場合は値下げも検討する。

【委員】 黒字になっても値下げの見直しはしないでしょう。積立金が増えて無駄な投資が増えることになる可能性もある。5年ごとの見直しで私はケース3が妥当かと思います。

【委員】 消費者の感覚からケース4の10%ぐらいが限度かと思います。また、使用水量が減ったとしても大丈夫かと思います。

【委員】 資料の6ページの26市の使用料金体系比較ですが、基本料金で1番高く、他の従量区分でも高い部類に入ります。市民感覚としては、なかなかケース4の10%改定、130円も値上げできないと思います。そうすると、ケース1の6.2%改定かケース3の5%が妥当だと思います。

【委員長】 それでは、ケース1の改定について話がでましたがこれに対して如何でしょうか。ご意見ありますか。

【委員】 値上げと同時に減免措置でも基本料金を徴収して頂きたいと思います。

【委員】 前提として5年後の検証が必要で、ケース3の5%改定とケース4の10%改定の間ぐらいの改定率がいいと思います。5年後には、値上げの可能性もあるということを含ませて、繰上償還などの借換の可能性もあるでしょう、状況が変わっているかもしれないということで見直しをする。まずは、ケース1の6.2%改定がいいと思います。

～ ○○委員退席 ～

【委員】 私も5年後ぐらいに見直すべきだと思います。

【委員】 5年で区切って見直しは必要だと思います。

【委員長】 ○○委員からは10～12%ぐらいの改定、○○委員は10%以内の改定という意見を聞いています。

【委員】 今の下水道の経費に無駄があると思いますが、より一層の効率的な経営を考えて頂きたい。

【委員】 6.2%を5年後に見直す場合は、いくらぐらいの改定になるのか。

【下水道計画係長】 ケース1を採用した場合、5年後に検証して問題なければそのままとなります。

【施設建設担当課長】 5年後に水量が思っていた以上に少ない場合や施設の劣化

が激しくて新たな改築・更新事業が必要となった場合に必要に応じて検討する、10年間何もしないというのはおかしいと思います。

【委員】 今後の節水器具の普及等をふまえて10%くらい上げて5年ごとに見直しをして、余ったら設備投資にまわした方がいいかと思います。

【委員】 東久留米市は、受益者負担金を徴収しなかったという理由もあって値上げをしなければならないということは、市民としては納得しがたいと思います。出来れば、受益者負担金をなんとかして欲しい。受益者負担金にあたいするだけの債務の残高を市に引き取ってもらいたい。

【委員長】 それでは、意見をまとめますと、議会や市民への説明及び理解が得られるケースを考えると、ケース1の6.2%改定として、5年後に検証することとすることで問題なければ挙手をお願いします。

【委員全員】 挙手

【委員長】 全員一致となりましたので、ケース1の6.2%改定を委員会の意見としてまとめたいと思います。

～ 5分休憩 ～

【下水道計画係長】 先ほど質問がありました、イトーヨーカドーの使用料金ですが、今年の4月、5月で410万円となっています。

【委員長】 それでは、議事3の減免措置について説明をお願いします。

【施設建設担当課長】 第3回の検討委員会にて現状をご説明させて頂きましたが、再度ご説明いたします、資料の5ページ参考資料をお開き頂き、平成23年2月現在において、いわゆる社会的弱者（所得が少額）に対する措置として、ほとんどの市が基本料金（1か月の基本量10m³まで）を減免・免除しています。立川市・東久留米市が生活保護受給者・中国残留邦人の自立支援受給者（支援給付は生活保護と同じ）を全額免除、東久留米市のみ児童扶養手当（扶養手当受給者（所得限度額がある）の収入が減ると生保受給者になります）・特別児童扶養手当受給者（所得制限なし、障害のある児童を扶養している）を全額免除しております。

生活保護法第60条被保護者は支出の節約を図りその他生活の維持、向上に努めなければならない。また、生活保護法の実施要領に生活費は要保護者の衣食等月々の経常的な最低生活需用のすべてを満たすための費用であると記載されておりますので、他市と同じ基本料（10m³まで）を免除でよろしいかと考えます。

参考に資料7ページ右下の合計欄を見て頂きたいと思います。件数、年間で21、121件なので12カ月で割ると1760件／月を全額免除しております、金額にすると34,108,687円これを基本料金のみ免除をいたしますと、吹き出しにもありますように2000万円の収入が見込めるのでないかと考えています。ご検討をお願いします。

【委員】 前回も同じような話をしていますが、全額減免措置が継続してきた経緯について教えてください。

【施設建設担当課長】 26市の比較をして、全額免除が東久留米市だけと把握できましたので、今回、基本料金までは免除ですが、それ以上の使用分については負担して頂くこととしたいと思い、議題にあげさせて頂きました。

【委員】 平成17年度の委員会の際に話題には出なかったのですか。

【都市建設部長】 平成17年度の際に話題は出ましたが、従前からの思いやりが引き継がれていくということで、全額免除としていました。前回の報告書のなかにも書いてあると思いますが、減免措置について一部記載があります。

【委員】 それでは、議会にあげたわけではないのですか。

【都市建設部長】 全額減免措置の廃止について議会にはあげていません。

【委員】 わかりました。他都市と同様に基本料金だけを免除したほうが良いと思います。

【委員】 同じ意見です。

【委員】 東久留米市だけ全額免除にしている理由が無いので、他都市と同様に基本料金だけを免除としたいです。

【委員】 私も同じ意見です。

【委員】 この議題も議会にかけることとなりますね。

【委員】 なります。この議題も議会ではいろんな意見が出ると思います。

【委員長】 それでは、意見も出ましたので、基本料金を免除とし、それ以上の使用については払っていただくということでどうでしょうか。問題なければ挙手をお願いします。

【委員全員】 挙手

【委員長】 全員一致となりましたので、減免措置については基本料金のみを免除とすることを委員会の意見としてまとめたいと思います。

～ 事務連絡 ～

次回 第7回委員会 7月29日 13:30～ 3階会議室

・第4回委員会議事録について、〇〇委員、〇〇委員から修正依頼を受けた。